

平成30年度 第2回 函館市南茅部地域審議会会議録

開催日時	平成30年10月25日 木曜日 午後3時00分～午後4時40分			
開催場所	函館市南茅部総合センター 講堂			
内 容	<p>○報告事項</p> <p>(1) 諸般の報告</p> <p>○議 題</p> <p>(1) 平成31年度地域別事業計画(案)について</p> <p>○地域振興全般に関する意見交換</p> <p>○その他</p> <p>(1) 地域審議会委員の任期満了に伴う委嘱までのスケジュールについて</p> <p>(2) 地熱発電事業の進捗状況について</p> <p>(3) 前回までの地域審議会での質問への回答について</p> <p>(4) 恵山・南茅部クリーンセンターの受入日の見直しについて</p> <p>(5) 磨光小学校, 臼尻小学校および大船小学校の統合に係る意見聴取会の開催について</p> <p>(6) その他</p>			
出席委員	<p>◎熊谷儀一委員      ○高谷大喜委員      藤川健一委員      張磨芳子委員</p> <p>嵐田由喜子委員      佐藤俊司委員      佐々木孝比古委員</p> <p>長谷川広宣委員      坂井満委員      工藤千春委員</p> <p>(◎: 会長      ○: 副会長)      (計10名)</p>			
欠席委員	<p>中村正俊委員      坂本裕太委員      野口慶太委員      熊谷真理子委員</p> <p>佐藤幸江委員      (計5名)</p>			
事務局の出席者の職氏名	<p>南茅部支所長      佐藤友則      企画部計画推進室計画調整課主査      坂田悟</p> <p>同地域振興課長      佐藤安浩      同計画調整課主任主事      品田朋廣</p> <p>同市民福祉課長      吉田修一      環境部埋立処分場長      山中孝夫</p> <p>同産業建設課長      西村雅人      教育委員会生涯学習部文化財課長      蛭子井慶治</p> <p>同地域振興課主査      佐々木愛      教育委員会学校教育政策推進室</p> <p>同地域振興課主任      村上周平      学校再編・地域連携課長      堤勝幸</p> <p>同市民福祉課主査      熊谷寿子      同学校再編・地域連携課主査      井本大士</p> <p>同産業建設課主査      中村俊大</p> <p>南茅部教育事務所長      赤城司</p> <p>同教育事務所主査      種谷文秀</p> <p>市立函館南茅部病院事務長      佐藤哲人      (計17名)</p>			
そ の 他	<p>・報道関係      北海道新聞社      (計1社)</p> <p>・傍聴者      (計1名)</p>			

1 開会	
地域振興課 (佐藤課長)	ただ今から、平成30年度第2回函館市南茅部地域審議会を開催する。
2 会長あいさつ	
熊谷会長	皆様には大変忙しい中、御出席いただき感謝申し上げます。本日の地域審議会は、市の平成31年度予算編成に当たり、南茅部地域で予定されている事業計画（案）や地域審議会委員の任期満了に伴うスケジュール等について事務局から説明を受けるほか、恵山・南茅部クリーンセンターの受入日の見直しや小学校の統合に係る意見聴取会の開催について関係部局から報告を受ける。また、地域振興全般に関する意見交換で御意見・御提言をいただき、これからの地域づくり、地域の活性化に御協力いただくようお願い申し上げます。開会のあいさつとする。
3 支所長あいさつ	
佐藤支所長	委員の皆様には、時節柄大変お忙しい中、御出席をいただき感謝申し上げます。また、日頃から当地域の振興はもとより、市政全般にわたって御理解と御協力をいただいていることに対して、この場をお借りし厚く御礼申し上げます。本日の審議会であるが、熊谷会長のごあいさつにもあったとおり、当地域における平成31年度地域別事業計画（案）について報告をさせていただくほか、地域振興に関する意見交換やその他の報告等を予定しており、よろしくようお願い申し上げます。  本日の審議会は、現在の委員の皆様の中最後の開催となる。熊谷会長を初め、委員の皆様には、これまで並々ならぬ御協力を賜り、心より感謝を申し上げます。本日の審議会も、忌憚のない御意見や御提言を賜るようお願い申し上げます。ごあいさつとさせていただきます。
地域振興課 (佐藤課長)	本日出席している企画部、環境部、教育委員会の職員を紹介させていただく。企画部計画推進室計画調整課の坂田主査、品田主任主事、環境部埋立処分場の山中場長、教育委員会生涯学習部文化財課の蛭子井課長、教育委員会学校教育政策推進室学校再編・地域連携課の堤課長、井本主査である。  以上である。

#### 4 出席委員の報告

地域振興課 (佐藤課長)	本日は、出席者10人、欠席者5人であり、出席者が過半数に達していることから、地域審議会の設置に関する規程第8条第3項の規定により、会議が成立していることを報告する。
-----------------	--

#### 5 報告事項

##### (1) 諸般の報告

熊谷会長	(1) 諸般の報告について、報告をお願いします。
------	--------------------------

佐藤支所長	<p>諸般の報告をさせていただく。報告事項は3点ある。</p> <p>1点目は、北海道胆振東部地震についてである。9月6日午前3時7分に胆振地方中東部を震源として発生し、最大震度は震度階級で最も高い7が厚真町で観測され、道内では初めて震度7が観測された。当市においても、樞法華支所管内の新浜町で震度5弱、当支所管内では川汲町、尾札部町ともに震度4であった。地震による直接的な被害は、大舟漁港のケーソンのずれや、臼尻漁港の屋根付き岸壁の雨水排水管の破損等があり、管理者である北海道が対応をしているところであるが、当地域では人的被害など大きな被害はなかった。地震直後、北海道全域に渡る停電が発生し、当支所管内では、固定電話や携帯電話、インターネットが繋がらないといった状況が続いたことや一部高台の地域で水が出づらくなったほか、小・中・高校の休校、路線バスの運休など、市民生活に大きな影響があったほか、漁協においては種苗生産施設や製氷施設などが稼働できなくなり発電機による対応が行われたところである。支所としては、9月6日の午後3時から8日の正午まで、南茅部総合センターを自主避難所として開設し、避難者の受け入れや、給水、携帯電話の充電などの対応を行った。</p> <p>2点目は、平成30年第3回市議会定例会についてである。当初は、9月3日から19日までを会期としていたが、地震による市内全域での停電等への市の対応に配慮され、当初の会期を短縮して、一般質問等は行わず、議案・決算を全て可決・認定し、9月10日閉会となったところである。</p> <p>3点目は、函館東商工会主催による「商工会 秋の感謝祭」についてである。この催しは、東部4地域の持ち回りで開催されているものであり、今年度は、南茅部地域での開催年で、9月23日に、南茅部総合センターを会場として開催された。台風が連続して到来していた時期であったが、当日は天候にも恵まれ、海の幸即売会や海鮮浜鍋無料配付に長蛇の列ができていたほか、北の縄文CLUBによる縄文遺跡群のPR、ステージショーや子ども向け遊具などのプログラムにより多くの来場者で賑わい、地域の活性化に寄与されたものと考えているところである。</p> <p>諸般の報告は、以上である。</p>
-------	---

熊谷会長	<p>質疑に入る。質問はあるか。</p> <p>ただ今の報告にあった函館東商工会の「商工会 秋の感謝祭」について、来場者は何人くらいか。</p>
佐藤支所長	<p>主催者からは800人程度とお聞きしている。</p>
熊谷会長	<p>こういう形で、各種団体が地域で事業を行ってくれば活性化になると思う。</p> <p>そのほかにないか。</p> <p>(なし)</p>
<p>6 議題</p>	
<p>(1) 平成31年度地域別事業計画(案)について</p>	
熊谷会長	<p>(1) 平成31年度地域別事業計画(案)について、説明をお願いします。</p>
<p>地域振興課 (佐藤課長)</p>	<p>資料1の「平成31年度地域別事業計画明細表」により御説明する。この資料は、合併建設計画などをもとに、平成31年度に想定される事業を掲載している。予算要求の有無などは不確定なものであり、これから新年度予算の要求作業を進めていくに当たって、委員の皆様から御意見等をいただくためのたたき台として作成したものである。その後、必要性や緊急度、さらに費用対効果などを考慮し、要求作業を進めることになるので、あらかじめ御理解いただきたい。</p> <p>1ページをお開きいただきたい。項目ごとに、南茅部地域関連分について御説明する。「1. 多様で力強い産業を振興するまちづくり」の「(2)水産業の振興」である。1つ目の「漁港の整備」であるが、特定漁港漁場整備事業として臼尻漁港の整備と、水産物供給基盤機能保全事業として古部漁港ほか4漁港の整備を予定している。2つ目の「漁場の造成」であるが、漁協が事業主体で行う漁場管理保全事業のコンブ漁場の雑海藻駆除事業に対する補助事業である。「水産環境整備事業」であるが、北海道が天然マコンブの人工礁の設置を予定しているもので、市として要望をしているところである。</p> <p>「ウニ・アワビ種苗等放流」であるが、漁協が事業主体で行う資源増大・有効利用対策事業のウニ・ナマコの種苗放流事業に対する補助事業である。次に、「その他関連事業の推進」であるが、船揚場の利用者で組織している管理組合が実施する漁船施設整備事業の船揚場の維持補修にかかわる補助事業である。</p> <p>2ページであるが、「(3)農林業の振興」である。3つ目の「市有林等の整備」であるが、間伐や下刈などを予定している。実施箇所や事業量は精査中</p>

	<p>である。</p> <p>3ページであるが、「(5)観光の振興」である。1つ目の「観光・宿泊施設の整備」であるが、南かやべ保養センターとホテルひろめ荘の改修事業を予定している。改修箇所等は精査中である。「各種イベントの支援」であるが、今年度と同様、ひろめ舟祭りの開催負担金を予定している。「その他関連事業の推進」であるが、2020年度に民営化を予定している保養センターとひろめ荘の、民営化にかかわる事務的な経費などを予定している。</p> <p>4ページであるが、「2. 安全で快適な生活環境を充実するまちづくり」である。「(2)消防・防災・生活安全の充実」の、「河川の整備」であるが、市で管理する河川の堆積土砂除去等の事業を予定している。「小規模治山事業」も予定している。</p> <p>5ページであるが、「(3)交通・情報ネットワークの形成」である。「その他関連事業の推進」の、地域内交通確保対策事業として、地域福祉バスとスクールバスの運行を予定している。次に、「(5)生活環境の整備充実」である。1つ目の「水道の整備」であるが、簡易水道の配水管の整備を予定している。</p> <p>6ページであるが、「3. やさしさとぬくもりのあるまちづくり」である。「(1)保健・医療の推進」の、5つ目の「医療機器の購入ほか」であるが、医療機器整備事業として行う医療機器の更新等となっており、内容は精査中である。</p> <p>7ページであるが、「(3)高齢者福祉の推進」である。「その他関連事業の推進」であるが、前年同様、高齢者温泉等入浴優待事業を予定している。</p> <p>8ページであるが、「4. いきいきと学び地域文化を育むまちづくり」である。「(4)特色ある地域文化の創造」の、2つ目の「大船遺跡等の保存・整備」であるが、史跡垣ノ島遺跡整備事業と縄文遺跡群世界遺産登録の推進事業を予定している。「その他関連事業の推進」であるが、国道278号尾札部バイパスや臨港道路などの発掘調査受託事業を予定している。</p> <p>9ページであるが、「5. 連携と交流によるまちづくり」の「(1)住民参加の推進」である。「その他関連事業の推進」であるが、地域会館改修事業として、古部会館の改修を予定している。</p> <p>説明は以上である。よろしく願います。</p> <p>熊谷会長 質疑に入る。質問はあるか。</p> <p>31年度の予算の編成のため、皆さんから意見を伺うものである。ここに出ている以外に気の付かれた点、予算をつけてもらえないかというものがあるれば、つくかどうかはわからないが、要望として出すことは問題ない。何かないか。</p> <p>工藤委員 4ページの「河川の整備」について、市で管理している河川ということだ</p>
--	---

	<p>が、ポン木直川が雑草等や土の堆積がかなり見られるが市で管理しているものか。</p>
産業建設課 (西村課長)	<p>市で管理している河川である。ポン木直川については、町内会からも立木を除去してほしいという要望があり、昨年、一昨年と立木を除去して流れに支障がないようにしているところだが、確かに雑草や土が上流に行くと多くあり、全て除去するとなると膨大な費用になるため、年々少しずつ実施し、流れに支障がないようにしていきたいと思っている。</p>
工藤委員	<p>了解した。</p>
佐々木委員	<p>2ページの「(3)農林業の振興」の「その他関連事業の推進」に道南スギ産地形成の推進とあるが、今、材木の値段がよく、伐採されて売られているが、その後の植林がほとんどないようであり、このままいくと40年、50年たてばスギが伐採されて裸の山になる。苗木の補助金はあると思うが、植林するのに人件費がかかる。市として対策や方針はあるのか。</p>
産業建設課 (西村課長)	<p>近年バイパス沿いで伐採されている箇所が増えている気がする。一部の声であるが、次の世代になると管理できなくなるので木を残しても、という相談が増えているが、市として植林は必ずするように指導をしている。</p>
佐々木委員	<p>市で道南スギの育成のための人件費の助成や補助を考えていないのか。材木を売っても、人を頼んで植林するとなれば逆に赤字になってしまうという悩みもあると思う。</p>
産業建設課 (西村課長)	<p>赤字になっているかどうかは民間同士の話なのでつかんでいないが、森林組合の補助を受けて実施することで多額の経費を使っているという話は聞いていない。値段がいい木と悪い木があると思うが、補助を受けて植林することまで計算して伐採業者も営業をしているようである。</p>
熊谷会長	<p>今説明があったように森林組合を使って植林をしているところもあると聞いている。後継者がいないので困難だということもあるとすれば、市でも今後考えていかなければならない問題かと思う。ただ指導するだけでなく、市でも1つの問題として、将来的なことを考えていくことも必要でないのかと思うので検討していただければと思う。</p> <p>ほかにあるか。</p>
熊谷会長	<p>私から病院バスの件で聞きたい。現在火曜日に病院の通院バスを運行している。運行当初から見ると火曜日の通院で利用する人が少なくなってきた感</p>

じがする。統計をとっているのであれば、わかる範囲で実績とそれに対する今後の市の考え方を教えてほしい。

利用者が少なくなってきたので廃止してくださいということではない。実際に、当初運行された時の利用者と現在とどのくらいの差があるのか、利用されている方がどんどん少なくなってくるという現状があるとすれば、当然市としても費用対効果として考えていかなければならないだろうと思うので、その点も含めてお聞きした。

地域振興課  
(佐藤課長)

平成26年度から29年度の4か年で見ると、26年度は973人、27年度は802人、28年度は749人、29年度は655人と減ってきている状況ではある。

熊谷会長

人口が少なくなり、結果的に病気にかかる人が少なくなって通院バスを利用する人が少なくなっているのであればわかるが、通院に利用しない方の理由の調査も必要でないかとも思う。利用している方の話も聞いて、今後の方針をたてていただければと思う。後でまたお知らせしてくれればと思う。

そのほかはないか。

(なし)

## 7 地域振興全般に関する意見交換

熊谷会長	地域振興全般に関する意見交換である。意見なり提言をお願いしたい。 佐藤俊司委員，支所長から商工会の秋の感謝祭に800人くらいの来場者という報告があった。商工会として，どういう思いか。
佐藤俊司 委員	4年に1回のイベントを成功させるために一生懸命であった。次回開催となる4年後に世界遺産になっていたら，それに関連した何かをとということもあるが，先の話になる。
熊谷会長	4地域あるので4年に1回となるが，その年に開催できない地域があれば，南茅部地域で開催できる可能性はあるのか。
佐藤俊司 委員	どこかが開催しなければ可能である。
熊谷会長	前回の審議会でも，縄文まつりとタイアップした形でというお願いをしたが，今回はかなわなかった。今言われたように世界遺産に登録されたとすれば，それなりにやらなければならないと思っている。今は世界遺産登録の推薦候補として，南茅部地域で縄文文化交流センターや国宝等をPRするための催しが必要と思うので，今後商工会の中で議論していただければと思う。
藤川委員	縄文の世界遺産について，国内推薦候補として選定された後の縄文文化交流センターの来館者数は増えているのか教えてほしい。
教育委員会 (蛭子井課長)	今年7月19日に国の会議があり「北海道・北東北の縄文遺跡群」が世界遺産の国内推薦候補となった。私たちも来場される方が増えると想定し，シャトルバスの運行，垣ノ島遺跡の臨時公開を2か月間実施した。結果から申し上げると大船遺跡は十数%，縄文文化交流センターも十数%入館者数が増となっている。垣ノ島遺跡の臨時公開の見学者は500名を超えた。例年よりも少し増えているが，北海道胆振東部地震が発生し，2日間停電となり休館した。その後，1週間から10日くらいは，例年に比べて10分の1くらいの来場者になった。それを差し引くと，去年に比べて十数%増となる。地震がなければ，それなりに来場者が増えたという結果になる。
熊谷会長	関連でほかにあるか。  (なし)

熊谷会長	佐藤支所長からあいさつの中で地域審議会委員として2年の任期が終わるというお話しがあった。今までいろいろと意見と提言をいただいた。今後、南茅部地域をこうしたい、こうなればいいなという思いがあると思う。一言ずつで結構なので高谷委員からお願いしたい。
高谷委員	この前の大規模停電の時は、通信自体が相当困った状況となった。緊急の時どうするのかと考えていたが、そういう事態になった時にどういう対処をしたらいいか、一朝一夕にできないとは思いますがもう少しマニュアル的なものがあればいいと思った。
坂井委員	消防でこの前の地震対応で停電もそうだが、家の電話が使えないなど大変であった。今、各分団に無線機を6台ずつ配備している。こういう状態になった時、各分団同士で無線で連絡をとり合って、緊急搬送とか支署ともつながるから速やかに行く方法はないかという協議をしている。
熊谷会長	そういう計画が消防団の方であれば、支所も含めて関係団体とも協議していただくことになると思うので、佐藤支所長にもお願いしたい。
坂井委員	電気がついても、電話から119番してもつながらなかった。
地域振興課 (佐藤課長)	函館市でも各支所からの電話が通じない状況となっていた。市としても課題を洗い出してどのような方策がいいかという検討をしている。
佐々木委員	バイパスを早く完成してほしい。
熊谷会長	大船町内会長としても早急に開通できるように協力をお願いしていただければと思う。
長谷川委員	2年前に、初めて地域審議会に出席し大変勉強になった。要望としては木直地区の端の方だが、光回線が整備されていない状態で、おそらく尾札部の黒鷲くらいまでということがある。また、台風や低気圧が来た時の高波に備えて、斜路にトンバッグを並べないと波が上がってくる。支所に波が上がりそうな前の日かその前日くらいに電話をして対応してもらう形である。そのたびに磯舟を歩道まで揚げて、波が収まってからトンバッグを撤去してもらって、磯舟を戻すような状況で不便である。 平成18年の爆弾低気圧の時は、うちの倉庫が国道の真ん中に飛ばされた。そういった前例もあるが、今も変わらない状況である。
熊谷会長	環境整備に関連するので、西村課長から捉え方についてお話しいただきました

	い。
産業建設課 (西村課長)	平成18年の時に私たちも現場に行った。その時の写真も支所にたくさんある。木直地区で、唯一沖に真っ直ぐ向いた船揚場になる。皆横を向いているが、そこだけ真っ直ぐに沖に向かっている。波もすごい地域で、私たちも都度都度ブロックが崩れてはよけて、波をよけるはずのブロックがすかさずかになっている。この状況については、今後の対応について昨年漁協、利用者と話をしている。国道を管理する国の開発建設部、海岸を管理する北海道、船揚場を管理する函館市と話を進めているが、膨大な費用がかかるということと、今後の利用状況、漁港の整備とあわせて考えていかなければならない状況にある。本庁と協議しており、何とかしなければならないとわかっている。目に見えた形で進んでいかないことは大変申し訳ないと思っているが、協議は進めているので、その間申し訳ないが、トンバッグを並べて対応していくというのが支所でできる範囲である。
長谷川委員	ガードとかついているところが結構あるが、ああいう形でできれば。
産業建設課 (西村課長)	ガードの設置だけならば国道を維持管理する開発建設部が担当することとなるが、海岸と船揚場の維持管理者が異なるため、関係する3者で調整して整備を進める必要がある。
熊谷会長	地域でも困っているのだから、なるべく早めに本庁と協議して地域の人に喜んでもらえるように対応をお願いしたい。
産業建設課 (西村課長)	そうできればと思っているがなかなか進まないのが事実である。
熊谷会長	長谷川委員、よろしいか。
長谷川委員	了解した。
坂井委員	磨光地区で側溝を直すのに手をつけたが、1回止まってから1年以上続きをやらないところがあるのでどうなっているのかと思った。つまりいて転ぶ人がいる。
産業建設課 (西村課長)	環境整備懇談会でも町内会から要望が上げられており、開発建設部と協議している。磨光地区と見日地区と2か所ある。委員からお話のあった磨光地区は、手かけたが開発建設部の思っている距離と尾札部町内会の思っている距離に差があったようで、開発建設部はあれで終わりという認識でいる。

熊谷会長	見日地区はまだ施工されていない状況で、催促をしている。雪が降る前にと いうことをお願いして、わかりましたと返事は来ている。磨光地区について も、まだ全部直っていないのは私もわかっているので、再度催促していき たい。
工藤委員	<p data-bbox="360 405 727 439">お願いしていただきたい。</p> <p data-bbox="328 501 1437 1115">人口が減って古部地区も木直地区も小学校が統合されてなくなった。子どもが少なくなり、運動会などの地域の行事がなくなった。この地域には大謀網がいくつもあるので、若い人の姿は、ほかの地域から見れば見られるとは思いますが、若い人たちが入ってくる状況になってくれたらいいと思う。テレビを見ていたら上士幌で年々人口が減って子どもも若い人もいない状況になっていたが、今東京などからの移住者が増えている。なぜかという、ふるさと納税を頑張っていてこども園が無料であるそうで、移住した時も住宅だとかにふるさと納税から当てている。子どもの医療もそうだが、こども園では外国語講師が子どもとかかわるといった状況がうけて、都会からの移住者がすごいそうである。函館のふるさと納税は以前証明書を発行するというものだったと聞いたが今でもそういう状況なのか。今年の納税の予算であるが、割と高くついていた気がする。要望としてはこれ以上人口が減らない活気のある海の町でいてほしいと思う。</p>
熊谷会長	<p data-bbox="328 1178 1437 1361">深刻な要望、お願いというか、そうあればいいと誰しも思っている。どう いう方法があるか市も市長以下一生懸命考えていることであるが、ふるさと 納税は報道等でされているが、いくらくらいか、今の函館市の返礼品は何か。</p>
地域振興課 (佐藤課長)	調べて回答したい。
佐藤支所長	<p data-bbox="328 1565 1437 1890">ふるさと納税については、国においてもいろいろ議論がある状況で、地元 ではないところに返礼品目当てでするのはおかしいのではという議論も出て いる。豪華な返礼品は出さない方向で国が指導していて、いずれ各自治体も そういう方向になるかと思う。函館市においては、当初は証明書を出してい たが、現在は地元の物産を御礼に出す形になっており高額な返礼品は出して いない状況である。ふるさと納税の用途については今確認しているので、後 程説明させていただきたい。</p>
熊谷会長	<p data-bbox="328 1953 1437 2036">国でも基本的には地場産品を使うように方向づけされた。どの程度まで守 っているのか、反発している自治体もあるようだが、函館で使う地場産品と</p>

	<p>いうと水産物関連が多いようである。いただいている方は、それで満足するかというのがあるが、今まで何を使っていたのか、変えたとすれば何を使うのかという協議をされたどうか。</p>
<p>地域振興課 (佐藤課長)</p>	<p>協議したかということであるが、担当課に確認したい。</p>
<p>佐藤俊司 委員</p>	<p>地域審議会に参加して、いろいろな団体、地域から出席している人たちの意見を聞き地域で困っていること、その団体で困っていることがわかってよかった。この場で答えなければならない職員は大変だったと思う。</p> <p>皆さん知ってのとおり、各地域の商店や工業の関係の店がなくなってきている。商工会でも頑張っており、今年も経済産業省の補助をもらい地元グルメの開発ということで料飲店会の人も頑張っている。地元の商工業者を使っていた方向でお願いしたい。</p>
<p>熊谷会長</p>	<p>各方面からもなるべく地元の業者を使ってほしいという要望もある。函館市と合併して大きくなったことで、地域の業者がなかなか入っていけなくなったというのがある。地元の業者でできないものはやむを得ないにしても、地元の業者で対応できるものは、基本的には地元の業者を中心にとというのがありがたいことである。商工会としても市にお願いしていかなければならないと思っているので、南茅部地域を活性化させるために協力をお願いしたいと思う。</p>
<p>嵐田委員</p>	<p>縄文遺跡のことで、古い話だが昭和50年代に縄文の研究で大学の先生が学生を連れて来たことがあった。大学の先生から縄文時代の食事や住居についての話を聞いたことを懐かしく思う。その時は、まだ国宝に指定されていないし、世界遺産登録ということもなかった。これまで関係者の方々がすごく努力をしてきたということを経験した。これまでの審議会を通じて感じている。</p>
<p>熊谷会長</p>	<p>昔からかかわってきた人たちの思いがあって今世界遺産の候補になったわけである。世界遺産登録に向けて、地域として皆さんに協力していただく場面も多分にあると思う。地域審議会ということにかかわらず、地域に住む一員として協力をしていただけたらと思う。よろしく願います。</p>
<p>張磨委員</p>	<p>私は高齢者の事故が気になっている。免許を返上したいと思っても旧市内と違って、この地域はとても不便である。温泉に行くにしても病院に行くにしても、旧市内よりも、この地域に対する補助的なものがもうちょっとないのかなと思う。もう少し必要で乗ってほしいと思うが、高齢者の事故を聞くと何歳くらいまで乗れるかといつも悩んでいる。</p>

熊谷会長	市でも考えていないと思うが、支所長はどう思うか。
佐藤支所長	運転免許の自主返納については、自治体によっては特典があるようだが、函館市としてはない。高齢者の車の運転に関しては個人差もあることで、家族の送迎など代替りの手段のことなどもあり一概には言えず、御自分の判断になると思う。
熊谷会長	一人暮らしが多くなり、商店がなくなって買い物難民が増えている。頼んで買ってきてもらえる人はいいが、免許を返上すると自分で買い物に行く手段がない。例えば病院の通院バスは地域コミュニティバスと捉えているが、同じ形でバスとまでいかななくても、例えば町内会とか各種団体にお願いして可能であれば協力をしてもらうのも1つの方法と思う。専門の運転手を雇うということにはならないので、地域の中でどうするかということについて、機会があれば町内会長会議なり関連の会議の中で、市として提案することが可能であれば、検討していただきたい。函館市も、人口が減っているし高齢化になっているので大きな問題と思っている。議会でも今後そういうことが出てくる可能性もあると思うので関係部局でも検討していただければと思う。
張磨委員	この前の地震のことだが、あの地震に対して津波はないと防災行政無線か何かで言ったのか。
地域振興課 (佐藤課長)	津波に関してはない時には放送をかけないことになっている。例えば津波注意報や津波警報が発令された時は放送を流すが、発令されていないので放送はしていない。
張磨委員	地震直後は停電になり、テレビがつかないから一番に頭に浮かんだのは津波はどうなのかと思った。津波の心配はないということを電話で教えてもらったので安心したが、その時は電池やラジオを用意していなかった。
熊谷会長	支所の防災無線はすぐにだめになることはないので、避難しなければならない場合は必ず放送が入るので、入らなかつたら大丈夫だと思っていただければと思う。
地域振興課 (佐藤課長)	今回地震があってすぐ停電になった。通常であればテレビをつけて何もなしということがわかるが、すぐに停電になったため情報の入手ができなかった。避難の必要がない時には防災無線をかけないということを皆さんもご存じないということもあるので、その辺についてどういう形がいいのか少し考

	<p>えてみたい。</p>
張磨委員	<p>ないと言ってくれば安心する。</p>
熊谷会長	<p>NHKでも、津波がなければないと放送するので、放送してもらえれば親切かと思う。皆さんも安心するので、なければいけないと言っただけであればいいのではないかと。検討してもらえればと思う。</p>
藤川委員	<p>委員になって長いですが、その都度質問して担当者から詳しい説明を受けて理解しているが、1つだけ理解していない点がある。先ほど佐々木委員が言った尾札部道路の件である。南茅部町時代から30何年計画されてからたっている。豊崎から大船まで着工できない点、会議の中で質問したが、空港までの新外環状道路が着工され、木古内から江差まで計画されている中で、開発建設部の方も来ているがはっきりした答えが出ない。何か欠けているのではないかと。その点は今でも理解していない。私は磯谷だが、磯谷の住民は災害でいざとなった時にスポーツセンターまで絶対来られない。いざ津波とかになったら、そういった面が一番理解に苦しむ。答えはない。</p>
熊谷会長	<p>確かに尾札部バイパス工事が始まって年数が経過している。藤川委員が言ったのは、尾札部道路の後に工事にかかった新外環状道路の方がなぜ工事が優先されるのか予算が多いのかという単純な疑問である。私もそう思う。もう完成していなければならない道路がいつまでかかるのかというのは、万が一の時に避難することが不便なために皆さんがそう思っているので、一日も早い完成をというお願いである。関係部局ともう少し詰めて早急に完成のためをお願いしていただければと思う。</p> <p>よろしいか。</p> <p>(異議なし)</p>
地域振興課 (佐藤課長)	<p>先ほどのふるさと納税の関係であるが、予算は確認をとれていないが使い道は、「函館市全体のために」、「子どもたちの未来のために」、「美しい景観を守るために」などの項目が6つあり、その中で選んで納税していただくということで、昨年度については約4,200件、約1億6,900万円のふるさと納税があった。使い道は、「美しいまちづくりのため」として函館駅前花いっぱい業務委託料に充てるなどといった形で使われている。また、「子育てや教育環境の充実のため」という項目があり、この中で、先ほどお話があった外国人英語指導助手にかかわる経費に充てていくということ</p>

になっている。ふるさと納税の予算の金額が多いというのは、返礼品の購入に充てているのでそれなりの金額が予算に出ている。函館市の場合、返礼品は二百数十件あり、魚介類や野菜類、お酒、麺類などの様々なものから選ぶ形になっている。参考までに、平成28年度のふるさと納税額は約1,100万円であり、29年度はかなり大きく寄附があったところである。

よろしいか。

熊谷会長

了解した。

熊谷会長

皆さんから思いを伝えていただいたが、それがいい方向で地域に反映されればよいと思う。協力依頼があったらそれぞれ協力していただければと思う。

## 8 その他

### (1) 地域審議会委員の任期満了に伴う委嘱までのスケジュールについて

熊谷会長

(1) 地域審議会委員の任期満了に伴う委嘱までのスケジュールについて、説明をお願いします。

地域振興課  
(佐藤課長)

地域審議会委員の任期満了に伴う委嘱までのスケジュールについて御説明する。現在の委員の皆様の任期については、11月末までとなっており、現在、新委員の選任に向け事務を進めているところである。委員は、学識・経験を有する方と、公募による方のうちから、市長が委嘱することと規定されている。公募委員については、10月1日から10月19日までの期間、公募を行ったところである。また、学識経験者については、今後関係団体に委員の推薦をお願いしたい。11月には委員の選考を行い、12月1日付で委嘱することとしている。12月上旬には、第3回地域審議会を開催したいと考えており、その中で委嘱状の交付、新委員の紹介、会長・副会長の選出などを予定している。

説明は、以上である。よろしくをお願いします。

熊谷会長

ただ今の説明のとおりである。11月末をもって現在の委員は終了となる。新しく現在の委員の中で再任をお願いされる方も多と思うのでその時はまた来ていただければありがたいと思う。事情を知っている中で議論するのもプラスになると思っている。

これについてはいいか。

(異議なし)

### (2) 地熱発電事業の進捗状況について

熊谷会長

(2) 地熱発電事業の進捗状況について、説明をお願いします。

地域振興課  
(佐藤課長)

民間事業者による地熱発電事業の進捗状況について、御報告する。本年7月の第1回地域審議会において、噴気試験と熱水をくみ上げるポンプの性能確認のための試験を実施し、試験の結果を精査し、最終的な方針等を決定していくこと、バイパスの電線敷設工事について、本年の11月頃から実施していくこと、地域審議会の現地の視察については、来年の5月から6月に実施したいということまで御報告した。

その後の進捗状況について、特に大きい動きはなく、前回の報告と重複する部分もあるが御報告する。10月までに噴気試験とポンプの性能確認試験は終了し、概ね良好な結果であり、今後は、この試験結果を精査し、正式決定を経て、建設工事等を実施していくことになるかと伺っている。建設工事については、会社の正式な決定を受けてということになるが、来年夏頃になる

と聞いている。決まれば報道発表がされることとなる。バイパスの電線敷設工事については、来年度以降、2か年で実施する予定ということである。来年度の春頃から、バイパスの歩道への埋設工事に入っていくものと聞いている。現地の視察については、事業者と調整しており、来年5月か6月に実施したいと思っている。日程が決まれば皆様に御案内したい。

以上である。

熊谷会長

質疑に入る。質問はあるか。

(なし)

### (3) 前回までの地域審議会での質問への回答について

産業建設課  
(西村課長)

前回までの持ち越しの回答である。まず、南茅部全般で磯焼け現象が起きているのではないかとという質問があり、北海道渡島総合振興局の水産課と函館水産試験場、渡島地区水産技術普及指導所などが水中カメラでの調査をしたとお話した。その後、函館新聞、北海道新聞に砂が堆積しているという記事が大きく載っていた。その話はしていたが、そのほかに、北海道全体の海域を北海道が調査しているので、結果が出たらまた御報告すると保留していた。平成29年7月に北海道が「噴火湾周辺地区水産環境整備事業藻場ビジョン策定調査業務」を業者に発注しており、今年の8月に調査結果の報告がされた。それによると、南茅部地区では川汲と、尾札部の東部および西部の3か所で調査し、結果は砂が堆積していて着生基質に不足が生じているのではないかとというものであった。ウニの食害があるのではという話もあったが、海底を調査したところ、1平方メートル当たり3個ずつくらいしかないことから、食害の可能性は低いのではないかとということであるが、その辺も経過を見ていかなければ何とも言えないという、すっきりとはしないがそういう調査結果であった。現在、砂によって着生基質が少ない状況のため、人工礁を設置する必要があるのではないかとというのがこの調査のまとめである。先ほど平成31年度地域別事業計画(案)の中で佐藤課長から天然マコンブの着生を何とかしようということで、人工礁の設置について説明があった。31年度から南茅部の海域の全てで行えるかどうかはわからないが、来年度から着手できるように市も漁協も道に要望している。人工礁に関しては、平成28年から古部で実験している。ある程度効果があるのではないかとということで、旧支所の海域単位になると思うが、来年から何とか設置できるように要望中である。

以上である。

もう1つ前回の審議会で保留させていただいていたウニ・ナマコの種苗放流の漁獲高ということで質問があった。過去3年程度ということで、27年からエゾバフンウニの水揚げは127トン、28年は81トン、29年は92

	<p>トンである。ナマコは27年が58トン、28年が71トン、29年が72トンとなっているが、これが種苗放流の成果かという、海の状況があり漁の日数やいろいろと違いが年によってあるので、一概に種苗放流の成果がどうなのかというのは厳しいものがあるし、ナマコに関しては27年から放流を始めているが、漁獲サイズになるまで3年くらいかかるといわれている生物であり、27年度から始めたとすると来年あたりから放流したナマコが揚がってくるのかなと、それも効果調査を行っていないため漁獲で見てもなかなか難しさがあるのかなと思っている。</p> <p>以上である。</p>
熊谷会長	<p>質問はないか。</p> <p>(なし)</p>
熊谷会長	<p>最終的には漁協の責任で事業を展開していくものであり、どういう形で効果のある方向に持っていくのかは、私たちが言ってもどうにもならないことである。数量的には、ある程度確保されているという認識でよいのか。</p>
産業建設課 (西村課長)	<p>舟から獲るばかりでなく、潜水器でも獲っているので、そこは大丈夫だと思う。</p>
<p>(4) 恵山・南茅部クリーンセンターの受入日の見直しについて</p>	
熊谷会長	<p>(4) 恵山・南茅部クリーンセンターの受入日の見直しについて、説明をお願いします。</p>
埋立処分場 (山中場長)	<p>来年4月からの恵山クリーンセンター、南茅部クリーンセンターのごみの受入日の変更について、資料2にもとづいて御説明させていただく。</p> <p>恵山クリーンセンターおよび南茅部クリーンセンターの現在の自己搬入ごみの受入状況は、恵山クリーンセンターにおいては月曜日、水曜日、金曜日と第2日曜日、南茅部クリーンセンターは火曜日、木曜日、土曜日と第3日曜日に自己搬入の不燃ごみ、粗大ごみを受け入れている。資料の各クリーンセンターの受入搬入状況であるが、南茅部クリーンセンターで説明すると、平成28年度は153日開場し、このうち1件も搬入がなかった日は30日、29年度は155日開場し、搬入がなかった日は39日となっている。ごみの搬入量については、28年度は756件で1日当たり0.94トン、29年度は679件で1日当たり0.78トンとなっている。30年度の9月末までの実績も載せているが例年冬場は搬入件数、搬入量ともに大幅に少なくなっているため30年度についても同じ傾向になるのではないかと考えている。現在、28年度から30年度までの3か年で恵山、南茅部の両施設</p>

熊谷会長	<p>を委託している。来年4月から新たな委託契約となるが、それぞれの自己搬入ごみの受入については、恵山クリーンセンターは月曜日、金曜日、第2日曜日に、南茅部クリーンセンターは火曜日、土曜日、第3日曜日に変更したいと考えている。今後、12月市議会で委託に係る債務負担行為の議決を得たうえで、来年1月に業者選定をし、4月から新たな受入日で業務を開始したいと考えている。</p> <p>以上である。</p> <p>ただ今の説明について、質問はあるか。</p> <p>今まで週3回クリーンセンターで受け入れていたものが週2回になるということである。よろしいか。</p> <p>(異議なし)</p>
(5) 磨光小学校、臼尻小学校および大船小学校の統合に係る意見聴取会の開催について	
熊谷会長	<p>(5) 磨光小学校、臼尻小学校および大船小学校の統合に係る意見聴取会の開催について、説明をお願いします。</p>
教育委員会 (堤課長)	<p>磨光小学校、臼尻小学校、大船小学校の統合にかかわる進捗状況について御報告をさせていただく。南茅部地区においては、小学校、中学校の保護者の皆様方から平成27年に中学校の早期統合についての要望書が提出された。教育振興審議会の旧組織である学校教育審議会から答申を受けて、教育委員会において保護者等説明会を開催した後、臼尻中学校と尾札部中学校の統合方針を決定し、統合年度を平成35年度としたところである。現在、3小学校の統合にかかわり、教育振興審議会が意見聴取会を開催し、それぞれの小学校のPTA役員や学校運営協議会委員、町会関係者の皆様にお集まりいただき、より具体的な意見をうかがっているところである。既に、昨日24日に臼尻小学校において意見聴取会を終えたところで、29日には磨光小学校で、11月6日には大船小学校で意見聴取会を行う予定としている。今後のスケジュールについては、教育振興審議会が、3校それぞれの意見聴取会を終え、それを踏まえたうえで答申をいただいた後、教育委員会において検討を進めたいと考えている。進捗状況については、また改めて御報告をさせていただきたいと考えている。</p> <p>以上である。</p>
熊谷会長	<p>質問はあるか。</p> <p>(なし)</p>

熊谷会長	<p>中学校の統合が決まっているので、この後は小学校の統合についての意見聴取会を行うということである。関係者には案内が届いているので、ぜひ出席していただきたいと思う。よろしいか。</p> <p>(異議なし)</p>
(6) その他	
熊谷会長	(6) その他について、何かあるか。
教育事務所 (赤城所長)	<p>かねてから御報告していた、もと南茅部青少年会館の解体工事が10月15日から始まっている。工期は12月中旬にかけての2か月である。工事中は、地域の皆様に何かと御迷惑をおかけすることとなるが、何卒御了承をお願いしたい。</p> <p>以上である。</p>
熊谷会長	ほかにあるか。
地域振興課 (佐藤課長)	今回任期中最後の審議会となっているので、熊谷会長から一言ごあいさつを頂戴したい。
熊谷会長	<p>地域審議会の終了に当たって一言ごあいさつ申し上げる。平成28年12月からの2年間、高谷委員とともに南茅部地域審議会の正副会長の重責を担わせていただいた。合併後、地域を取り巻く状況が大きく変化していく中で、学校再編や南茅部病院のあり方、さらには、本年7月に世界遺産の国内推薦候補に選定された垣ノ島遺跡の整備、活用についてなど地域にかかわりの深い様々な問題について皆様とともに意見交換を行ってきた。地域の振興を考えていく中で、本審議会の果たす役割は、非常に大きかったものと捉えており、委員からいただいた意見や提言はこれからの地域づくりに大いに生かされるものと思っている。この2年間、無事に任期を全うすることができたのは、委員の皆さん、関係部局の職員の方々の特段の御配慮と御支援によるものと思っており、心からこの場をお借りして感謝を申し上げます。結びに、関係各位の御健勝を御祈念申し上げて本日の審議会終了に当たってのごあいさつとさせていただきます。</p>
地域振興課 (佐藤課長)	平成30年度第2回函館市南茅部地域審議会を終了する。
(午後4時40分閉会)	